

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今井 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)山本 浩之 (TEL)03(5290)5511
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	94,369	8.8	4,902	△36.7	5,148	△31.6	4,337	△29.6
2022年3月期第1四半期	86,727	13.8	7,748	76.0	7,521	50.1	6,156	46.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 7,738百万円 (△14.0%) 2022年3月期第1四半期 9,003百万円 (63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	50.30	—
2022年3月期第1四半期	71.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	578,322	293,290	50.1
2022年3月期	557,646	292,094	51.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 289,519百万円 2022年3月期 288,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		70.00	—	75.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	210,000	9.9	18,000	△28.6	17,000	△28.1	13,000	△28.0	150.76
通期	455,000	18.2	43,000	7.2	41,000	12.4	29,000	11.5	336.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	88,555,840株	2022年3月期	88,555,840株
2023年3月期1Q	2,325,168株	2022年3月期	2,324,689株
2023年3月期1Q	86,230,815株	2022年3月期1Q	86,219,831株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や設備投資が上向くなど景気は持ち直しの動きがみられましたが、資源価格が一段と高騰したほか円安が急激に進行し、先行きに対する不透明感が高まりました。また、世界経済は全体としては持ち直しましたが、世界的な物価上昇やウクライナ危機の長期化、中国の経済活動抑制の影響など多くの下振れリスクを抱えております。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。また、2021年度からの2年間では、次期経営計画のありたい姿へ飛躍するための大切な準備期間と位置づけ、「社会にとってかけがえのない存在」になるための第一歩として、「事業」「環境」「人財」に関する3つの「Value-Up」に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、価格面では原燃料の上昇に応じた見直しや円安による手取り増がりましたが、数量面では上海ロックダウンや自動車減産の影響を受けた減少があり、売上高は943億69百万円と前年同期に比べ76億41百万円(8.8%)の増収となりました。利益面では、交易条件が悪化したほかスペシャリティー化進展のためのコストの増加もあり、営業利益は49億2百万円(前年同期比28億45百万円減、36.7%減益)となり、経常利益は51億48百万円(前年同期比23億73百万円減、31.6%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億37百万円(前年同期比18億19百万円減、29.6%減益)となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

球状アルミナの販売はxEV関連で一時的な減少がありましたが、5G関連やデータセンター向けが堅調に推移し前年を上回りました。また、高純度導電性カーボンブラックは販売価格の改定により増収となり、電子部品・半導体関連分野向け高機能フィルムや球状溶融シリカファイラーの販売は概ね堅調に推移しました。一方、自動車産業向け金属アルミ基板“ヒットプレート”やLED用サイアロン蛍光体“アロンブライツ”の出荷は前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は218億54百万円(前年同期比8億85百万円(4.2%)増収)となりましたが、営業利益は、増産体制構築に関わるコストの増加などがあり、40億70百万円と前年同期に比べ2億93百万円(6.7%)の減益となりました。

<ライフイノベーション部門>

新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ™-COVID19 Ag”の販売は、価格は保険点数引き下げにより下落しましたが、地方自治体を通じた高齢者施設や教育機関などへの供給や家庭でのスクリーニング検査向けなど、需要の裾野が拡大し前年を上回りました。その他の試薬の販売は前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は64億4百万円(前年同期比4億35百万円(7.3%)増収)となり、営業利益は5億12百万円と前年同期に比べ1億79百万円(53.9%)の増益となりました。

<エラストマー・インフラソリューション部門>

クロロプレンゴムは需要が堅調に推移したほか、販売価格の見直しを行い増収となり、肥料の販売も前年を上回りました。このほか、特殊混和材の販売は概ね前年並みとなりましたが、セメントは原燃料価格の上昇に対して価格転嫁が一部にとどまりました。

この結果、当部門の売上高は303億94百万円(前年同期比58億39百万円(23.8%)増収)となり、1億87百万円の営業損失(前年同期は営業利益52百万円)となりました。

＜ポリマーソリューション部門＞

スチレン系製品は原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を行いました。数量面では、デンカシンガポール社のMS樹脂は、テレビやモニターの需要減がありましたが生産能力を増強したことから前年を上回りました。ABS樹脂や透明樹脂は自動車減産や中国経済減速の影響を受け減少し、スチレンモノマーは定期修繕を実施したことから出荷減となりました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品は概ね前年並みとなり、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は316億30百万円（前年同期比1億20百万円（0.4%）減収）となり、1億21百万円の営業損失（前年同期は営業利益25億66百万円）となりました。

＜その他部門＞

YKアクロス株式会社等の商社は、取扱高が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は40億86百万円（前年同期比6億1百万円（17.3%）増収）となり、営業利益は5億90百万円と前年同期に比べ1億52百万円（34.9%）の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ206億76百万円増加の5,783億22百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ177億23百万円増加の2,358億87百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ29億52百万円増加の3,424億34百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ194億79百万円増加の2,850億32百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ11億96百万円増加の2,932億90百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.7%から50.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想および通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月11日に公表した予想数値を据え置きます。

なお、セグメント別の内訳につきましては、次のとおり見直しを行っております。

2023年3月期第2四半期（累計） セグメント別業績予想数値

(単位：百万円)

		前回発表予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)
電子・先端プロダクツ	売上高	50,000	50,000	—
	営業利益	11,000	10,000	△1,000
ライフイノベーション	売上高	20,000	20,000	—
	営業利益	4,000	5,000	1,000
エラストマー・ インフラソリューション	売上高	65,000	65,000	—
	営業利益	1,000	1,500	500
ポリマーソリューション	売上高	67,500	67,500	—
	営業利益	1,500	500	△1,000
その他	売上高	7,500	7,500	—
	営業利益	500	1,000	500
合 計	売上高	210,000	210,000	—
	営業利益	18,000	18,000	—

2023年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位：百万円)

		前回発表予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)
電子・先端プロダクツ	売上高	105,000	105,000	—
	営業利益	23,500	22,500	△1,000
ライフイノベーション	売上高	50,000	45,000	△5,000
	営業利益	10,000	11,000	1,000
エラストマー・ インフラソリューション	売上高	135,000	140,000	5,000
	営業利益	1,000	2,500	1,500
ポリマーソリューション	売上高	150,000	150,000	—
	営業利益	7,500	4,500	△3,000
その他	売上高	15,000	15,000	—
	営業利益	1,000	2,500	1,500
合 計	売上高	455,000	455,000	—
	営業利益	43,000	43,000	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,210	23,314
受取手形、売掛金及び契約資産	101,026	101,844
商品及び製品	55,790	63,023
仕掛品	4,516	7,475
原材料及び貯蔵品	25,352	28,668
その他	11,485	11,795
貸倒引当金	△218	△234
流動資産合計	218,164	235,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	82,587	82,257
機械装置及び運搬具（純額）	90,006	92,698
工具、器具及び備品（純額）	4,666	4,489
土地	63,494	63,511
リース資産（純額）	2,141	2,278
建設仮勘定	20,276	21,101
有形固定資産合計	263,171	266,337
無形固定資産		
のれん	5,989	6,156
特許権	359	339
ソフトウェア	1,111	1,222
その他	2,931	3,125
無形固定資産合計	10,391	10,843
投資その他の資産		
投資有価証券	60,552	59,479
長期貸付金	140	141
繰延税金資産	1,326	1,256
その他	3,971	4,454
貸倒引当金	△73	△76
投資その他の資産合計	65,918	65,254
固定資産合計	339,482	342,434
資産合計	557,646	578,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,032	48,376
短期借入金	40,545	44,802
コマーシャル・ペーパー	8,000	11,000
1年内返済予定の長期借入金	12,470	12,446
未払法人税等	5,439	2,013
未払消費税等	298	111
賞与引当金	2,904	5,558
その他	46,988	46,349
流動負債合計	166,679	170,659
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	39,016	55,040
繰延税金負債	5,995	4,890
再評価に係る繰延税金負債	8,401	8,401
退職給付に係る負債	5,074	5,563
株式給付引当金	60	65
その他	3,324	3,411
固定負債合計	98,872	114,373
負債合計	265,552	285,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,397	49,406
利益剰余金	183,128	180,995
自己株式	△7,645	△7,646
株主資本合計	261,879	259,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,883	15,888
繰延ヘッジ損益	△348	△275
土地再評価差額金	10,377	10,377
為替換算調整勘定	2,410	6,377
退職給付に係る調整累計額	△2,731	△2,604
その他の包括利益累計額合計	26,592	29,765
非支配株主持分	3,621	3,771
純資産合計	292,094	293,290
負債純資産合計	557,646	578,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	86,727	94,369
売上原価	62,324	71,291
売上総利益	24,402	23,078
販売費及び一般管理費	16,654	18,175
営業利益	7,748	4,902
営業外収益		
受取利息	12	—
受取配当金	703	1,358
持分法による投資利益	92	356
為替差益	—	203
その他	192	132
営業外収益合計	1,000	2,051
営業外費用		
支払利息	217	211
為替差損	50	—
固定資産処分損	510	941
操業休止等経費	111	191
その他	336	460
営業外費用合計	1,226	1,805
経常利益	7,521	5,148
税金等調整前四半期純利益	7,521	5,148
法人税等	1,492	642
四半期純利益	6,028	4,505
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△127	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,156	4,337

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	6,028	4,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△491	△1,181
為替換算調整勘定	3,414	4,050
退職給付に係る調整額	127	127
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	237
その他の包括利益合計	2,974	3,233
四半期包括利益	9,003	7,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,098	7,509
非支配株主に係る四半期包括利益	△94	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラス ソリューション	ポリマー ソリューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,968	5,969	24,554	31,751	83,242	3,484	86,727	—	86,727
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	52	52	1,069	1,121	(1,121)	—
計	20,968	5,969	24,554	31,803	83,295	4,553	87,848	(1,121)	86,727
セグメント利益	4,364	333	52	2,566	7,316	437	7,754	(6)	7,748

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	46,728	26,349	13,649	39,998	86,727
連結売上高に占める割合 (%)	53.9	30.4	15.7	46.1	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラス ソリューション	ポリマー ソリューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,854	6,404	30,394	31,630	90,282	4,086	94,369	—	94,369
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	2	179	182	1,134	1,317	(1,317)	—
計	21,854	6,404	30,396	31,810	90,465	5,221	95,686	(1,317)	94,369
セグメント利益 又は損失(△)	4,070	512	△187	△121	4,274	590	4,864	38	4,902

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額38百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	51,151	25,587	17,629	43,217	94,369
連結売上高に占める割合 (%)	54.2	27.1	18.7	45.8	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。